

## ロシアのウクライナに対する侵略を非難する決議

令和4年2月24日、ロシア軍はウクライナへの本格軍事侵攻を開始した。ウクライナの北大西洋条約機構（NATO）への加盟阻止を目指し、同国に対して圧力を強めてきたロシアが本格的な軍事侵攻に踏み切った状況である。ロシア国防相は同日、ウクライナの防空システムを制圧したと発表した。報道では、ロシアが一方的に併合を宣言したクリミア半島や、北に隣接するベラルーシからも攻撃が加えられたとされ、クリミアなど各方面から地上部隊が侵入したと伝えられている。

この強行された軍事侵攻は、国際法上決して許されるものではなく、人権を著しく阻害し、対話を見捨てた世界の平和を脅かす暴挙に他ならない。また、ウクライナを支援する国々による制裁措置も開始された。

ロシアは、最大の核保有国であることを強調しており、軍事レベルを上げ、その使用を示唆している。寝屋川市は「非核平和都市宣言」を掲げており、このような暴挙は決して許されるべきではなく、あくまでも対話による解決を求めるとともに、寝屋川市議会としてロシアのウクライナに対する侵略を強く非難することを決議する。

以上、決議する。

令和4年3月2日

寝屋川市議会